

Application for Participation

Associated Schools Project (ASP)

for Promoting International Education

地域・社会とつなごう！みんなで考え、みんなで行動
～あいさつ・歌・ボランティアの豊岡中～

Outline of the way the Project(s) will be implemented in the institution

(please use extra sheets if necessary)

Description of the Project (プロジェクトの概説)

本校は、愛知県豊橋市東部の住宅地にある伝統校で、都市化により年々生徒数が多くなり、その都度分離を繰り返してきた。大きな団地を抱え、地域での人間関係が希薄になりつつある地区もある。また、外国籍の生徒も多く、言葉・文化・生活習慣・価値観などの違いから学校に馴染めない生徒も少なくない。そこで、本校では生徒たちが「人とのつながり」「社会との関わり」を大切に、人としての優しさや適切な判断力をもち、責任ある主体的な行動ができるよう、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育（ESD）を地域とともに推進することにした。そうすることで、地域や人を愛し、社会に貢献できる生徒を育てたいと考えた。

まず、ESDについて全職員で共通理解を図り、今まで本校が取り組んできた活動や行事について洗い出した。そして、それらをESDの視点に立って見直したり、手を加えたりして充実・発展させていくことを確認した。

Objectives of the Project (プロジェクトの目的)

本校では、ESDを「つなぐ」という観点で捉え、身近な地域や社会、様々な人たちとの交流を深めていく中で、お互いに理解し合い、協力し合うことの大切さに気づき、よりよく暮らしていくために自分ができることから始めようという意識にまで高めていくことを目標としている。

そのために、本校では以下の4つの活動でそれぞれ目標を掲げ活動している。

① ボランティア活動

- ・いろいろなところで、中学生が活躍する場面があることを知らせ、活動の内容について考えさせる。
- ・活動を通じて学んだことを交流し合い、活動の輪を広げる。
 - (ア) ホリデーボランティア（生徒会）・・・地域とつなぐ
 - (イ) 小学校運動会ボランティア（体育部）・・・小学生とつなぐ
 - (ウ) ボランティア部・・・地域・障害のある方とつなぐ

② 福祉体験活動・・・障害のある方とつなぐ

- ・「福祉」の意味を正しく理解し、自分が日常どのように関わっていったらよいかを考えさせる。
- ・体験活動を通して福祉の知識や考え方を深めさせる。

③ 国際理解活動・・・世界とつなぐ

- ・お互いの国の生活習慣や文化を知る。

④ その他

○あいさつ運動 ○保育園との交流活動

Execution (プロジェクトの実施)

1 ボランティア活動

ホリデーボランティアは、生徒会が中心となって有志を集め、休日に地域の人たちと協力して、地域の公園清掃などを行うもので、すでに11年の歴史がある。現在では、小中の連携が図られ、小学生も参加している。年4回行うが、毎回200名以上の生徒と、50名以上の児童が参加し、校区内12か所の公園に分かれて活動している。健全育成会の協力もあり、地域ぐるみの活動として定着してきている。昨年度からは清掃の他、校区の防災訓練にも多くの中学生が参加し活動している。

その他、小学校や校区の運動会、お祭りなど中学生が活躍できる場面は多い。小学生や地域の人たちとの関わりを大切に、生徒たちが学校以外の場でも活躍できるように働きかけている。



公園清掃をする子どもや地域の人たち



校区防災訓練に参加する中学生

2 福祉体験活動

生徒たちは学校行事を通じて学年・学級の絆を深める活動を行ってきている。またボランティア活動を通して「地域の役に立ちたい」という意識をもつ生徒も多い。そこで、さらに社会に目を向けさせるために「社会」の中で人々が幸せに暮らすためにどんなことが行われているのか、また自分たちに何ができるかということを考えさせる。生徒たちに「福祉について」個々に追求させた後、「車いす」「手話」「点字」「音訳」「要約筆記」「盲人ガイド」の6講座の中から、2講座を選んで体験させている。これらをきっかけに休日に近くの障害者施設へ出向き、率先してボランティア活動に参加している生徒もいる。



盲人ガイドの講習会



車いす体験

3 国際理解活動

本校では、現在60名の外国籍生徒がいる。それら外国人生徒に対しては外国人生徒対応教員を中心に、個に応じた取り出し指導やT・T指導によるきめ細かな学習支援を行って日本語理解に努めている。逆に外国籍の生徒たちは、自分の国のことを知ってもらおうと、母国について調べたことを掲示板に貼ったり、外国人の保護者が実際に外国料理を作って紹介したりするなど、お互いの交流を図っている。生徒たちは、日常の授業はもちろん、放課にも気軽に会話を交わし、暖かい雰囲気の中でコミュニケーションを深めている。自分の国と日本の文化や生活習慣の違いを受け入れながら生活している。



ブラジル進路の講演



外国籍生徒の取り出し指導

4 その他

人と人をつなぐ第一歩は何と言っても気持ちのよい「あいさつ」である。本校では、生徒会が中心となり、全生徒が「あいさつ・歌・ボランティア」を合言葉に活動している。心のこもったあいさつがあふれ、すばらしい歌声が響き、ボランティアに積極的に取り組むことを意識して学校生活を送っている。

また、小学校だけでなく、近くの保育園とも交流をしようとして、文化祭に園児を招待し、自分たちが企画した体験活動をいっしょに楽しむ活動を進めている。



朝のあいさつ運動



文化祭での保育園との交流

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年	国際教育					国際教育						
生徒会	あいさつ運動		ホリデー ボランティア			ホリデー ボランティア	保育園児との交流 文化祭		福祉に関する学習	福祉体験活動1年		ホリデー ボランティア
ボラ部			手話・点字講座									

Type of materials to be used (使用する教材)

- ・キャリア教育ノート 愛知県教育委員会
- ・学校ボランティア活動・奉仕の本(全6巻) 学習研究社
- ・中学生活と進路 愛知県中学校産業教育研究協議会
- ・ほっとすてっぷ 豊橋市社会福祉協議会ボランティアセンター

Is there any type of evaluation to examine the effects of the project on students' comprehension and attitudes? (プロジェクトに対する生徒の理解と姿勢の評価方法)

生徒の理解と姿勢の評価については、以下のように行う。

- ・生徒の様々な活動への取り組みの成果を、事後のまとめや感想、発表から把握する。
- ・指導教師は、ふだんの生活の中でも生徒の態度や姿勢を観察し、プロジェクトの後には振り返りカードの記述によって評価する。
- ・学校評議員を通じた地域からの評価や、PTA 委員からの声、全保護者や全生徒を対象としたアンケート調査から把握する。

上記の評価をもとに、生徒の実態や地域の特色に沿った取り組みになるよう、また、さらに ESD の視点に立って内容充実を図る。

On behalf of my institution, I apply for participation in the UNESCO Associated Schools Project and give the assurance that this institution will make an active contribution to the Project, as outlined above, for a minimum period of two years. At the end of every year, I shall submit a report of the Project to the ASP National Co-ordinator of my country.

(本学校を代表して、ユネスコASPの参加申請をし、少なくとも2年間は上記概要にそってASPに貢献する活動を行うことを確約します。また、毎年ASPコーディネーター(※日本の場合は日本ユネスコ国内委員会)に活動のレポートを提出します。)

2/28/2014

Date (日付)

Principal's name (校長名 (※直筆))

Position, (役職) Principal

Institution's name (学校名)

Toyooka Junior High School